

尾道駅長 インタビュー

人が賑わう「憩いの駅」に



Profile 奈良県出身。1998年にJR西日本に入社。和歌山や京都で勤務した後、大阪本社のCS推進部でお客様の意見をもとにサービス改善提案や満足度向上を図る事業に取り組む。2019年6月からJR尾道駅長に。

今年3月にリニューアルオープンした尾道駅。片岡茂樹前駅長に代わり、この6月から新たに着任した岩本圭司駅長にお話を伺いました。

今回尾道が初めての駅長職なんですね。

せっかくJRに就職したのでいつかは駅長!と思っていました。念願は叶ったのですが、新しくなったばかりの尾道駅とは想像してなかったです。(尾道については)一般的な知識しかなく、駅長就任を拝命した時はうれしさ半分、不安半分でした。

実際の尾道の感想はどうですか?

はじめて尾道駅の改札から出た瞬間は、衝撃が走りました!目の前に飛び込んできた尾道水道の風景に感動し、気が付いたら駅の事務室を素通りして(汗)駅前芝生広場に立ちつくしていました。3カ月経った今でも、町と海と山、島がギュッとつままった尾道の風景が大好きです。ついつい景色を眺めながらメタボ解消も兼ねて歩いて移動してしまいましたが、古いもの新しいものが入り混じる尾道の街の息遣いを感じますね。



デッキから見る景色が大好きです(駅長談)

新しい駅舎はいかがですか?

おしゃれなお店もたくさんありますよね。



1階にはお土産物やフードコートが



2階のカフェでのんびりとくつろぐ

新しい尾道駅は鉄道を利用される方だけでなく、待ち合わせやショッピングなどにもご利用いただけます。地域の皆さまや観光で訪れる方々たちが、行きかい交じり合う場所として、尾道に新たな賑わいを生み出すことができればうれしいです。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

最近、JR西日本と尾道の繋がりが更に深くなっているのではないですか。JR単独での駅舎のリニューアルも異例でした。

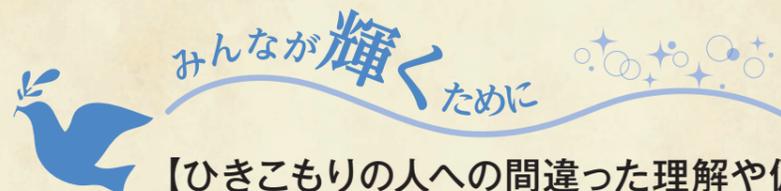
この春、関東・関西方面で放送されたJR西日本のCMは尾道・しまなみ海道で撮影されたものでした。女優の中条あやみさんが出演していますので、ぜひHPをご覧ください。

また現在JR西日本は、鉄道事業ばかりではなく、地域の方々と一体となって新たな魅力を生み出す「せとうちパレットプロジェクト」に取り組んでいます。その中で尾道駅新駅舎は玄関口として非常に重要な役割を担っていると思っています。プレッシャーも大きいですが、瀬戸内、そして尾道の魅力を多くのお客様に満喫いただけるよう、駅のメンバー共々頑張っていきます。応援よろしくお願いします。



新作の試食も駅長の大事なお仕事(?)

取材中おいしそうにスイーツを食べる駅長さんの表情が印象的でした。お忙しい中ありがとうございました。



【ひきこもりの人への間違った理解や偏見】

厚生労働省から、ひきこもり状態にある方やそのご家族への支援に向けて、次のメッセージが発信されました。

(前文略)

(川崎市や東京都練馬区の事件など)これらの事件の発生後、ひきこもりの状態にあるご本人やそのご家族から、国、自治体そして支援団体に不安の声が多く寄せられています。これまでも繰り返し申し上げていますが、安易に事件と「ひきこもり」の問題を結びつけることは、厳に慎むべきであると考えます。ひきこもりの状態にある方やそのご家族は、それぞれ異なる経緯や事情を抱えています。生きづらさと孤立の中で日々葛藤していることに思いを寄せながら、時間をかけて寄り添う支援が必要です。

誰にとっても、安心して過ごせる場所や、自らの役割を感じられる機会があることが、生きていくための基盤になります。ひきこもりの状態にある方やそのご家族にとっても、そうした場所や機会を得て、積み重ねることが、社会とのつながりを回復する道になります。また、ひきこもりの状態にある方を含む、生きづらさを抱えている方々をしっかりと受けとめる社会をつくっていかねばならないという決意を新たにしました。まずは、より相談しやすい体制を整備するとともに、安心して過ごせる場所や自らの役割を感じられる機会をつくるために、ひきこもりの状態にある方やそのご家族の声も聞きながら施策を進めていきます。そして、より質の高い支援ができる人材も増やしていきます。

ひきこもりの状態にある方やそのご家族は、悩みや苦しみを抱え込む前に、生活困窮者支援の相談窓口やひきこもり地域支援センター、また、ひきこもり状態にある方が集う団体や家族会の扉をぜひ叩いて下さい。

国民の皆様におかれましては、あらゆる方々が孤立することなく、役割をもちながら、ともに暮らすことができる、真に力強い「地域共生社会」の実現に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年6月26日 厚生労働大臣 根本 匠

周囲の人におかれても、ひきこもりの人への間違った理解や偏見は、本人のみならず家族の不安を助長することにも繋がります。ご理解とご協力をお願いいたします。またお悩みの方は、次の窓口までご相談ください。

- 健康推進課 (☎0848-24-1962)
- 御調保健福祉センター (☎0848-76-2235)
- 東部保健所 (☎0848-25-4640)
- 広島ひきこもり相談支援センター
小泉病院 (三原市) 火・金のみ
(☎0848-66-0367)

皆さんの感想やご意見をお寄せください。

〒722-0041 防地町26-24
人権男女共同参画課 (☎0848-37-2631)

健康推進課 (☎0848-24-1962)